

大学生×商店街

# BUNSUJ

Vol.2 / 2021年11月

TAKE FREE!!



## 「分水の人に触れる」

特集：分水の偉人

良寛

田沢実入

青山士

宮本武之輔

店主の素顔に迫る

分水珠算学校

KAZUO Antiques

卯八家具店

(株)本田石材

# BUNSUI PROJECT

大学生 × 商店街

BUNSUI Vol.2 のコンセプトは「人」。  
分水の偉人や現在も商店街で活躍するお店の人など、  
分水で輝く「人」を大学生の目線でご紹介します。

---

## \*インタビュー

03\_ 分水良寛史料館

04\_ 信濃川大河津資料館

## \*個店紹介

06\_ 分水珠算学校

08\_KAZUO Antiques

10\_ 卯八家具店

12\_ (株)本田石材

# 分水について、聞いてみた ～良寛さんってどんな人？～

(BUNSU I Project…以下B) 本日はよろしくお願いいたします。

(良寛…以下良) はい。よろしくお願いたします。

(B) さっそくですが、良寛さんが分水で過ごした思い出を聞かせてください。

(良) 私は二二歳の時に分水の地藏堂にある私塾に通い始めました。

(B) その時のお友達は長いお付き合いになったそうですね。

(良) ええ。丁度私が五合庵に住んでいた時に再会しました。

(B) 五合庵！ 人里離れた場所にある？

(良) せわしない俗世を離れて、ゆったり暮らしたかったのです。

(B) 生活は大変ではなかったですか？

(良) 友人が生活を支えてくれましたし、時々集まって歌を作ることも

楽しかったですよ。

(B) その後乙子神社草庵に移住したんですね。

(良) はい。その時は子どもたちと過ごす時間が多かったです。

(B) 良寛さんを見つけるとすぐに駆け寄って来たそうですね。人気者じゃないですか。

(良) どの子もいい子でしたよ。

その子たちの中の一人は後に私のこ

とを本にまともてくれたそうです。

(B) 『良寛禪師奇話』ですね。

(良) 令和のみなさん。これ、実話ですよ。

(B) ！

—良寛さんについてもっと知りたい方は、『分水良寛史料館』まで！



良寛の像



史料館

## 燕市分水良寛史料館

住所 新潟県燕市上諏訪 9-9

電話番号 0256-97-2428

記事 本間珠寿

# 分水について、聞いてみた

## ～大河津分水の歴史～

(BUNSUUI Project…以下B)自己紹介をお願いします。

(田沢実入…以下田)田沢実入(たさわみのり)です。

私は、一九〇七年から始まった大河津分水建設事業第二期に携わっております。

(青山士…以下青)青山士(あおやまあきら)です。

私は、田沢さんたちが携わった大河津分水の修理という形で行った昭和二年の工事に携わっております。

(宮本武之輔…以下宮)宮本武之輔(みやもとたけのすけ)です。

青山さんの指導の下、設計者兼現場責任者として携わっております。

(B)まずは田沢さんにお話を聞きたいと思います。

田沢さんは、若い頃からお父様と一緒に大河津分水工事着工運動を行っていったんですね。

(田)はい。実は、この工事は資金や技術が不足して一時中止になってし

まって…。

しかし、父の想いもありますから、ここであきらめるわけにはいきませんよ。

(B)えっ！一度中止になったんですか！

(田)そうなんですよ。なんとか再開させようと、工事のために全資産を明け渡してしまいました。

(B)土木工事に全資産！そのような熱い姿勢を見せられたら再開するしかないですね。

(田)でしょ。その想いを忘れないために河川敷に桜を植えたんです。

(B)おいらん道中を彩る桜にはこんなエピソードが隠されていたんですね。



田沢実入





宮本武之輔が開催した仮装行列

(B) 続いては第三期の工事に携わったお二人に聞いてみましょう。

(青) 集中豪雨のせいで中止の危機に追い込まれたって知ってます？

(B) え！第三期ですか！

(宮) ソーソー、だからね、私、可動堰を建設するために河川を閉じる仮締切りってのを壊すことにしたんです。

(青) 彼の決断は地域のみなさんをおっしゃること。大胆だし、さすがだと思いますでしたね。

(宮) 青山さんに怒られるかと思いましたがよ。

(青) まさかあ。あ、宮本さんの地域思いのエピソードはまだあるでしょ？

(B) そうだ、事前に頂いたお写真が仮装行列なのですが…。

(宮) やった、やった。ただ働くだけではモチベーションが落ちちゃうから、イベントや飲み会をしてたんですよ。

(B) 青山さんと宮本さんは東京帝国大出身の超エリートで近づきたいイメージでしたが、熱い思いを持った気さくな方ですね。

(青・宮) よく言われる(笑)

—もっと大河津分水の歴史について知りたい方は『信濃川大津資料館』へ！

信濃川大津資料館

住所 新潟県燕市五千石

電話番号 0256-97-2195

HP <https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/>

記事 本間珠寿

# 分水珠算学校



## 分水珠算学校 鈴木 圭介 さん

---

鈴木 圭介さん

職業：分水珠算教室  
そろばん講師

趣味：テニス、洋画・  
ドラマ鑑賞

---

# 一人一人との付き合いを大切に

分水で子どもたちにそろばんを教える先生がいます。全国珠算教育連盟の珠算教育士をもつ鈴木圭介さんです。分水にそろばん教室を構えてから四十年ほどが経ち、学校が終わると保育園児から小学校・中学校

の生徒がそろばんを習いに集まります。鈴木さんは、一人一人との付き合いを大切にするのをお話しいました。どのようなか考えながら生徒に接していき、あまり得意でなかった子が成長して

いたり、段位を取れたりすることにやりがいを感じるとお話ししていました。

そろばんをすることで右脳が鍛えられ、ただ計算するだけではなく一度考える動作が必要となり脳を働かせるなどの教育的価値があり、何年も続けて力をつけていくスポーツ的な面もあるそうです。そんな鈴木さんの趣味はテニスや洋画・ドラマ観賞です。また、鈴木さんは分水が大好きで、春に大河津分水路に咲く桜並木が特に好きだとお話しされました。



## 分水珠算学校

住所 新潟県燕市分水栄町 3-4

電話番号 0256-97-2753

記事 平岡颯太

KAZUO Antiques

# 渡辺 一男さん



併設のカフェの手作りケーキ



渡辺 一男さん

職業：KAZUO Antiques

店主

趣味：アンティーク家具、  
海外映画の鑑賞





# アンティークへの愛情

店主の渡辺一男さんが経営する KAZUO Antiques では三十年ほど前からアンティーク家具を売っています。取り扱っているアンティーク家具はおよそ百年の歴史を持つものが多いです。そんなアンティーク家具には魅力がたくさんあります。オシャレで、味のある家具はとも見えて楽しく心惹かれます。こうした魅力に惹きつけられた渡

辺さんのアンティーク家具への愛情は深く、趣味の一つにしていると言っても過言ではありません。他にも渡辺さんはクリーニング業、染め物、改装、カフェなど様々な仕事をしており、大変忙しい毎日を過ごしています。特にカフェはアンティークショップに併設されており、アンティーク家具を見に行ったついでに立ち寄ることもできます。こうして自分の好きなこと、趣味を仕事にしている渡辺さんにとってアンティーク家具は生きがいの一つなのかもしれません。

## KAZUO Antiques

住所 新潟県燕市下諏訪 10-19

電話番号 0256-97-1416

HP <http://k-antiques.jp>

記事 加治雄貴



# 卯八家具店 山田 隆 さん

山田 隆さん

職業：卯八家具店店主

趣味：ラーメン店巡り

スポーツ観戦

# 『全力説明』

卯八家具店では家具、インテリアに加え、福祉用具などを取り扱っています。また、家具のリメイクも行っています。店主の山田隆さんいわく「家具にはその人や家の歴史が刻まれている。リメイクすることで歴史が新たに引き継がれていく」。そう語る山田さんのモットーは『全力説明』。お客さんに商品の良いところだけでなく悪いところも含めたすべてを説明し、納得のいく商品を選んでもらう。お客さんが自ら聞きたくても聞けないことを話すのが、大手量販店にはできない卯八家具店の強み。納

得してもらうためにお客さんの望むものを探すのは一苦労ですが、最終的にお客さんに満足してもらえた時の喜びはひとしおとのこと。そんな山田さんの休日の過ごし方はいよいよご飯を食べること。ラーメンの話をするとうきなラーメン屋の名前が次々と飛び出しました。ラーメンの話がお客さんと親密になるためのツールにもなるそう。最後に山田さんは「分水は昔から知っている人とのつながりがある。生まれ育った場所を大事にしていきたい。」と語っていました。



## 卯八家具店

住所 新潟県燕市下諏訪 8-3

電話番号 0256-97-2332

HP <https://u8kagu.com/>

記事 板持永和

(株)本田石材  
本田 駿  
さん



---

本田 駿さん

職業：(株)本田石材五代目  
趣味：サッカー

---

四代目の本田厚信さん





# 真摯に向き合う

一九〇二（明治三五）

年に開業した本田石材さん。初代の本田三治さんから始まって今や五代目（社長は四代目）。普段はお墓を専門に扱う石材店でありながら、最近では、オーダーメイドで結婚式のウェルカムボードや家の表札を作成するなど、お墓の作成だけにとどまらず、どの世代の人からも興味を持ってもらえるような取り組みを行っています。

五代目の本田駿さんは、もともと石材店を継ぐ予定はなく、高校卒業後東京の大学に進学し、将来は専攻していた

心理学を活かした職業に

就きたいと思っていたそうです。しかし、就職活動のタイミングで地元に戻り、最初は手伝い感覚で石材店の仕事に携わっていました。それがきっかけで石材の魅力に気づき、現在では五代目として、新しい活動や、SNSの運営、ホームページでの広報活動など、若い視点を生かした取り組みを積極的に行っています。

「お客様一人一人に真摯に向き合っています。」と語る駿さんのもとは、お話を楽しみに訪れるお客さんも多く、地元

の人からも愛される石材店です。国産の石材にこだわり、創業以来培ってきた確かな技術でお客様の満足度のいくものづくりを提供しています。あなたも、日常の中に石を取り入れてみてはいかがでしょうか。

(株)本田石材

住所 新潟県燕市熊森字潟道 1273-2

電話番号 0256-98-2911

HP <https://hondaishiya.com/>

[amebaownd.com/](https://amebaownd.com/)

記事 佐藤茅風・柳澤菜緒



~ BUNSUI Memories ~

# BUNSUI

THANK YOU FOR READING

## ～編集後記～

今、この冊子を手にとってくれたあなたへ  
お読みくださりありがとうございます。

「個店」の「個」は「個性」の「個」

どのお店も店主の個性あふれるお店です。

この記事を読んで「会ってみたい」と思っただけであれば幸いです。

いつか分水に足を運んで会いに来てください。

最後に BUNSUI Project にご協力いただいたすべての皆様へ

大変ありがとうございました。

【Staff】板持永和 / 加治雄貴 / 佐藤茅風 / 原千乃 / 平岡颯太 / 細貝真未 /  
本間珠寿 / 柳澤菜緒

【Special Thanks】卯八家具店 / KAZUO Antiques / 分水珠算学校 / 藤本田  
石材 / 信濃川大河津資料館 / 燕市分水良寛史料館 / 並川努 新潟大学創生  
学部

※敬称略、各五十音順

BUNSUI Volume.2

【企画・編集・発行】BUNSUI Project/2021年11月発行

【お問い合わせ】BUNSUI Project

〒950・2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学創生学部並川研究室 BUNSUI Project

E-mail: bunsuijp20@gmail.com



## BUNSUI Project